



和泉観ボラだより 第11号

2015.3 発行



〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目1-1 (和泉中央駅構内) 和泉市いづみの国観光おもてなし処気付「和泉観光ボランティアクラブ」

TEL/FAX : 0725(56)5200 E-mail izumichuo-tex@gp.knt.co.jp http://blog.goo.ne.jp/kankou-izumi/

和泉の歴史を自転車で巡ろう♪



観光ボランティアクラブのサイクリング研修。和泉市役所北側の井ノ口王子跡より歴史遺産小栗街道巡りを自転車で出発。レンタサイクル、しかも電動。「スイスイ！ス〜ダララッタ♪♪」（この歌詞ご存じの方は軽快さがわかるはず）と、ペダルも軽く小栗街道を進むと…ここが街道面影一番要所かな？（写真・左）

「えっ？これって日本語？」伯太高校正門前の碑文字を縦に読むか横に読むかの違いに思わず苦笑。電動アシスト付き自転車のメンバーは、涼しい顔でスイスイ坂登りするも、普通の自転車組は青息吐息。その昔、遙か彼方の大阪湾を航行する船が、灯台代わりに使ったといわれる燈明台が今も残る放光池公園。ここが今回のサイクリングルートの頂点なので、ホッと一息。下った先には社屋が国の登録有形文化財に登録されているガラス工芸の「佐竹ガラス」があり、現存する高い煙突は、現役時代には煙の流れが地域の气象台役目を果たしたとか。ここでも一息入れて、下り坂を進みました。

やがて見えてきたのは、大阪府指定天然記念物の樹齢約600年とも言われる古木の西教寺のいぶきの樹。2014年3月18日に登録有形文化財（建築物）に登録された西教寺住職ご夫妻が「ようこそお越し！」とお出迎え。格式高い太鼓楼。境内には江戸時代に建てられたという本堂と手水屋形と表門、経蔵、鐘楼があります。外陣正面の広縁・向拝造りに時代の流れの諸行無常を感じました。（写真・右）本堂内には西本願寺お抱え仏師「康雲」作の阿弥陀如来像。ふすま下張りの古びた絵には「どれくらいの価値があるのだろうか？」と思うくらいの芸術の奥深さを感じました。そのなかで特に驚いたのが、本堂内の地震対応できるシェルター造りのコーナー。新しい発見に心が残りましたが、先へと急ぎました。



延々と続く下りの坂での自転車は快適この上なし。口笛吹いて進む先にこんもり盛り土の小さな丘。畑が広がる住宅地。その風景は異様な感じもするうえに、なぜか胸騒ぎも…

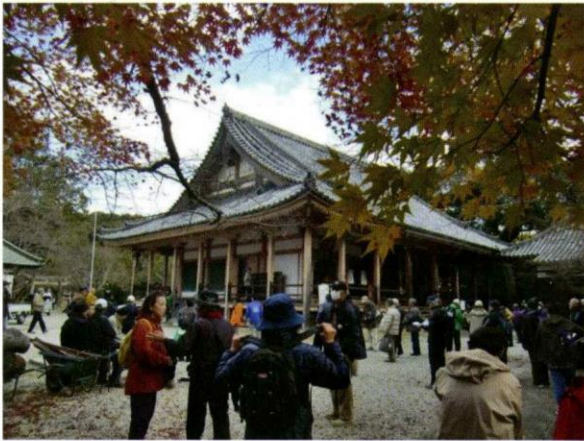
そこにあるのは黄金塚古墳。その昔、魏の明帝から邪馬台国の卑弥呼へ送られたという説もある神獣鏡が埋もれていたと言われてい

ます。黄金塚古墳は現在では国指定の古墳であり、勝手に入ることはできず、文化財振興課の職員の方に案内して戴きました。発掘跡の赤土見える登り坂を上がれば、黄金塚の碑が立ち、いにしえを想像すると気持ちが盛りあがります。高台より四方八方が見渡せる 360度のパノラマ。遠くには、霞む大阪湾が望まれ、過ぎし時代の海人は、弥生の時代の建物やこの古墳が航路の目印であったらうと夢広がります。季節によっては緑に覆われて、その存在も判らないようですが、赤土が見える枯れ野原の冬は、築いた人々の息吹が感じられました。サイクリングを終えて月日が過ぎた今でも、心ウキウキ思いたす Bicycle 研修コースの風景。（写真・左）

研修を実施した時期は昨年の師走 12 月。和泉市役所を 13 時に出発し、井ノ口王子跡→国府小裏門横→三名地蔵の祠→泉井上神社→国府跡のみたち山公園→伯太高校裏門・小栗街道碑（ここより上り坂）→信太山駐屯地前→放光池公園（常夜灯）→佐竹ガラス→西教寺→黄金塚という約 4km・3 時間強の行程になります。

貸自転車ご利用の方は JR 和泉府中駅前東側駐輪場のレンタサイクルが便利です。運転免許証など本人確認のできるものが必要です。貸出時間は午前 9 時～午後 5 時迄（貸出受付は午後 3 時迄）。利用料金は 400 円（電動自転車は 600 円）で、レンタルした駐輪場へ返却です。JR 北信太駅・JR 信太山駅・泉北高速鉄道 和泉中央駅のレンタサイクル駐輪場への乗り捨てはできません。

2014 和泉市歴史ウォーク「松尾谷のほとけたち」



桃山学院大学正門からの坂道を上り、宮ノ上公園内 まなびのプラザ「和泉市いずみの国歴史館」から出発。歴史ウォーク参加の皆さんだけあって歩くスピードの速いこと速いこと。先導役として交通誘導ポイントの安全確保役のはずが、参加者に待って戴くことしばしば。それでも道中は和気藹藹で「この店は美味しかったですよ」「ここは春の花がたくさん咲き、歩いていると元気をもらえる場所」と、楽しい情報をたくさん戴きました。学習しながらの移動に距離を忘れて進んだ先が、幽玄古寺の松尾寺。ほっと一息つく間もなく、ご住職の懇切丁寧な説明に耳を傾けます。「本堂にお上がりください」の声で靴をぬぎ、本堂内拝観。「あの～どなたか履物を間違えた方はいらっしゃいませんか？」という声にしばしの沈黙ののち、「あれ？どおりで新しいと思った」と間違えに気づく人あり。「気が付くだけまだまだいけるよ」爆笑の中、残り楓もそっと微笑むひとときでした。2014年12月13日に実施されました。

松尾寺バス停の一角にそそり立つ大楠（大阪府天然記念物）の説明

1. 木魚の材質として最高（音質が柔らかい）
2. 楠は女性のお守り（虫がつかない）
3. 楠は樟脳造りの材料として使われている
4. アニメ「となりのトトロ」の大きな森の木は楠がモデル

樹高の日本一	松尾寺の楠	30m
	鹿児島県の蒲生（かもう）神社	30m
	佐賀県武雄市の武雄神社	30m
	大分県大分市の柞原（ゆすはら）神社	30m
幹周りの日本一	鹿児島県蒲生（かもう）神社	約 24.2m
	静岡県熱海市の来宮（きのみや）神社	23.9m
樹齢日本一	武雄市の川古にある楠	約 3000年
	大分県大分市の柞原（ゆすはら）神社	約 3000年
	静岡県熱海市の来宮（きのみや）神社	約 2000年

「松尾寺の楠は樹齢 700 年なので、まだ未だ若い。和泉の郷と同じです。」という説明は、参加者にとって微笑みのひとときでした。



「和泉歴史講座」を開講しました

2015年1月より和泉観光ボランティアクラブの「皆で語り合しましょう！和泉の町の名所や歴史を！」が始まりました。光明台の「ポケットパークつばさ」にてお話させていただきました。

初回は、皆さんが本当に来て下さるのかと早めに会場入りしました。がらんとしていて不安を感じながら待つこと10分、タイミングを心得たかのように次々と参加者が入ってこられ、一気に賑やかになりました。用意した資料にすぐ目を通す人、誰が講師かと思回す人、皆さんの反応から興味を持ってもらえたように思いました。

1月のテーマは、「和泉市の特色特徴・遺跡や古墳・神社仏閣等」、2月のテーマは、「光明伝説や大正・昭和初期の歴史がわかる散歩道・ため池光明池」、3月以降も講座は続きます。

現在住んでいる所の地形は？文化や歴史は？和泉国って？という疑問にこたえる内容も盛り込んでお話ししました。泉州の10%のため池は和泉市にあり、光明池の貯水量は府下第一位です。光明台地区の歴史は光明池築造、学校や大橋の建設によって周辺が整備され、「大阪府みどりの百選」にも選ばれるような美しい風景が生まれました。



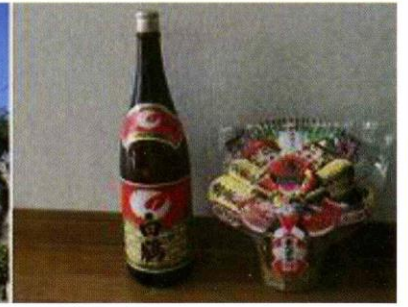
1時間ほどの講座の後は、参加の皆さんが知っていることをわいわいがやがやと語り合いました。

「昔、光明池で泳いだよ。」「池の近くに神社があったっけ。」「餅まき、していたわ。」「あの餅まき、どんな時にしていたんかな？」「光明池の近くは、大橋や学校ができるまでは、何もないから気味が悪いところやったんよ。」など、参加の皆さんのお話は、わたしたち観光ボランティアクラブのメンバーが知らないことが多く、思わず聞き耳を立ててしまいました。活字での歴史より生の声の歴史をわたしたちが教わりました。

この歴史講座は、「皆で語り合しましょう！」と表題のついている通り、参加された皆さんが知っていることや思い出話をさせていただいて、わいわいがやがや井戸端会議のように進めたいと思っています。

十日戎・泉井上神社と福瀬戎神社

恵比寿神、恵比寿さんと言われる七福神の一人を、大阪では「えべっさん」と親しみを込めて呼んでいます。年の始めに商売繁盛を祈願するお祭りとして知られている「十日戎（えびす）」という祭典があります。和泉府中駅から徒歩圏内にある「泉井上（いずみいのうえ）神社」では、「和泉戎祭」として1月9日～11日までありました。9日が「宵戎（よいえびす）」、10日が「十日戎（とおかえびす）」「大祭」、11日が「残り福（のこりふく）」と言われています。十日戎の福引でお酒が当たりました。



(写真・上) 泉井上神社の「和泉戎祭（十日戎）」



福瀬戎神社は、約1300年前に建立。明治8年に宮改めによって福を授かる神社として知られていて、約50年前から宮司さんが不在のため、福瀬町の人々が拝殿の飾り付けや縁起物の準備、当日の運営などを行っているそうです。

福瀬戎は商売繁盛祈願として行われ、「福瀬のえべっさん」として親しまれています。福瀬戎はその地名にちなみ名づけられました。

「福」という縁起のよい漢字が入っているえべっさんなので、毎年「福」を求めて町内外から約12000人という人数が訪れるそうです。地元の人が案内・誘導もしてくださり、地元の人と交流が温かく感じられたお祭りでした。(写真・左)

泉井上神社は和泉の地名の起こりとなったと伝わる「和泉清水」を祀っています。境内にある和泉五社総社は、大鳥(おおとり)・穴師(あなし)・聖(ひじり)・積川(つがわ)・日根(ひね)の和泉五社を勧請して祀った神社で、本殿は国の重要文化財に指定されています。JR阪和線「和泉府中駅」より東に約300mです。

福瀬戎神社は公共機関では和泉中央駅から南海バスで「槇尾中学校」下車、オレンジバス・東ルートに乗り換えて「福瀬戎」下車になります。オレンジバスの便数が少ないので、車が便利です。期間中は「臨時駐車場」が完備されています。

「和泉市いずみの国観光おもてなし処」が新装オープン♪

2015年3月1日、「和泉市いずみの国観光おもてなし処」が、JR和泉府中駅前にリニューアルオープンしました。雨の中、和泉市観光事業の活性化と発展に向けて活動する「おもてなし処」に、多くの市民の期待が感じられるなか、関係者のご挨拶、テープカットと続き、晴れやかにオープンしました。市職員による施設内の案内、和泉市の地場産品であるガラス細工や人造真珠、和泉木綿など（数量限定）が当たる「和泉のことを知ってね！ガラボン抽選会」、観光大使「トモチン」と1日駅長のコダイくんロマンちゃんを交えての記念撮影など盛りだくさんの催しがありました。和やかな雰囲気満ちて、いつしか雨もやんでいました。



オープン2日後にふたたび訪れたとき、和泉市の観光名所などを案内するコンシェルジュ（観光専門案内人）の皆さんが、「和泉特産品、売れてま〜す」と笑顔でお出迎え。3世代で訪れたお客様と笑顔いっぱいの歓談の場となり、「おもてなし処」は賑わっていました。



観光ガイドへのお問い合わせ先「和泉市いずみの国観光おもてなし処」

開所時間・10:00～18:00 定休日・月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始

電話・FAX 0725 - 56 - 5200



聖神社の初詣風景～新しい木の香り～

聖神社へ初詣に行き、新しくなっていることを知りました。木の香り、新しい提灯、いつものとは違う感覚になりました。煌びやかであり、厳かであり、華やかであり、それでいて落ち着いていて…2015年の第一歩はとても新鮮な気持ちになりました。聖神社は歴史も古く、シリブカガシの南限としても植物でも有名な神社です。JR 阪和線・北信太駅から、小栗街道をわたり、シリブカガシの木立の中を歩き、聖神社まで歩いてみませんか？これから歳月を重ねるなかで、だんだんと社は落ち着いた色になっていきますが、新しい木の香り漂う「現在」の新しい聖神社を訪ねてみませんか？いまだけの風景が、趣きがあります。

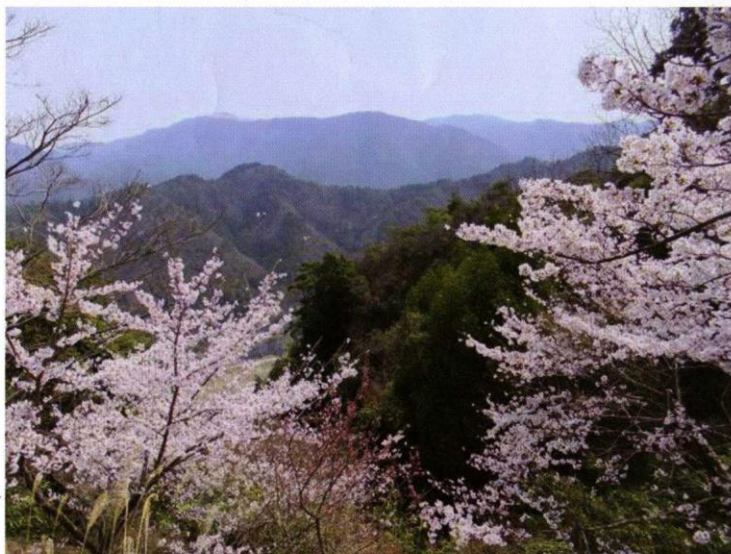


2015.1.1 聖神社

新しい社は木の香りが漂っていました。



和泉市の桜の名所～榎尾山施福寺～



榎尾山施福寺の境内には桜の季節には見事な桜を観ることができます。枝垂れ桜は華やかで可憐なピンク色です。ダイヤモンドトレールの山々の新緑の木々と桜の花のコントラストも素敵です。



本堂前の桜は、鮮やかなピンク色の枝垂れ桜です。鮮やかですが、花びらは小さくて可愛いです。

境内には染井吉野が淡い色ですが、存在感をしっかりと示して咲いています。4月上旬～中旬が例年見頃です。

境内全体には染井吉野と枝垂れ桜が見事なバランスで咲いています。桜の期間は短いのが勿体ないです。

観光ボランティア養成講座企画

わたしたち和泉観光ボランティアクラブのメンバーは1～4期生がクラブに登録しています。超ベテランの1期生から、まだまだひよっこの4期生まで、年齢層もさまざまです。

2015年度は「観光ボランティア養成講座」を開講して、「和泉観光ボランティアクラブ5期生」を迎えたと考えています。現在、講座を企画中です。決定しましたら次号の「観ボラだより」で詳細をご報告できたらと考えています。

和泉市をいろいろな面から知る講座を考えていますので、乞ご期待ください。

編集後記

弥生3月、梅の花から桜の花の季節へと移りはじめました。ゆっくり小栗街道（熊野古道）を歩いたり、そよ風を感じながらサイクリングしたり、ダイヤモンドトレールを歩いたり、これからの季節はアウトドアが楽しめます。「和泉の国観光おもてなし処」がリニューアルオープンして、「観ボラだより」が、たくさんの皆さまにご愛読いただけるよう願っています。



コダイくんロマンちゃんに、わたしはまだ生で会ったことがないので、ぜひ和泉市のどこかで偶然会えたらいいなと思っています。年度末から新年度へ向けて、またあらたな出会いにわくわくしています。

